

# ISO 13709 2<sup>nd</sup> edition (API 610 11<sup>th</sup>)

## 4. 6.1.10 (P.20) 粘性液を扱うときのポンプ性能の補正

### 改正内容；

水よりも高粘度の液体を扱うポンプの性能は、ISO/TR17766によって補正することになりました。ISO/TR17766は、ANSI/HI 9.6.7と同一ですが、性能は数式を使って補正します。具体的には、Nsを変数として、吐出し量、全揚程、効率およびNPSHRを計算します。

従来は補正するために図を使っていて、人によって計算した性能が微妙に異なっていました。この改正によって、誰が計算しても同じ結果になります。ただし、計算した結果が、実際の運転の性能と合致するわけではありません。この点は従来の場合と同様です。高粘度の液体を扱ったポンプの実際の性能をプロット(ばらつきがある)して、計算結果がプロットしたほぼ中央になるように数式を決めました。

この改正に、NPSHRの補正が追加されました。高粘度液のときのNPSHRは、必ず水の場合より高くなります。

